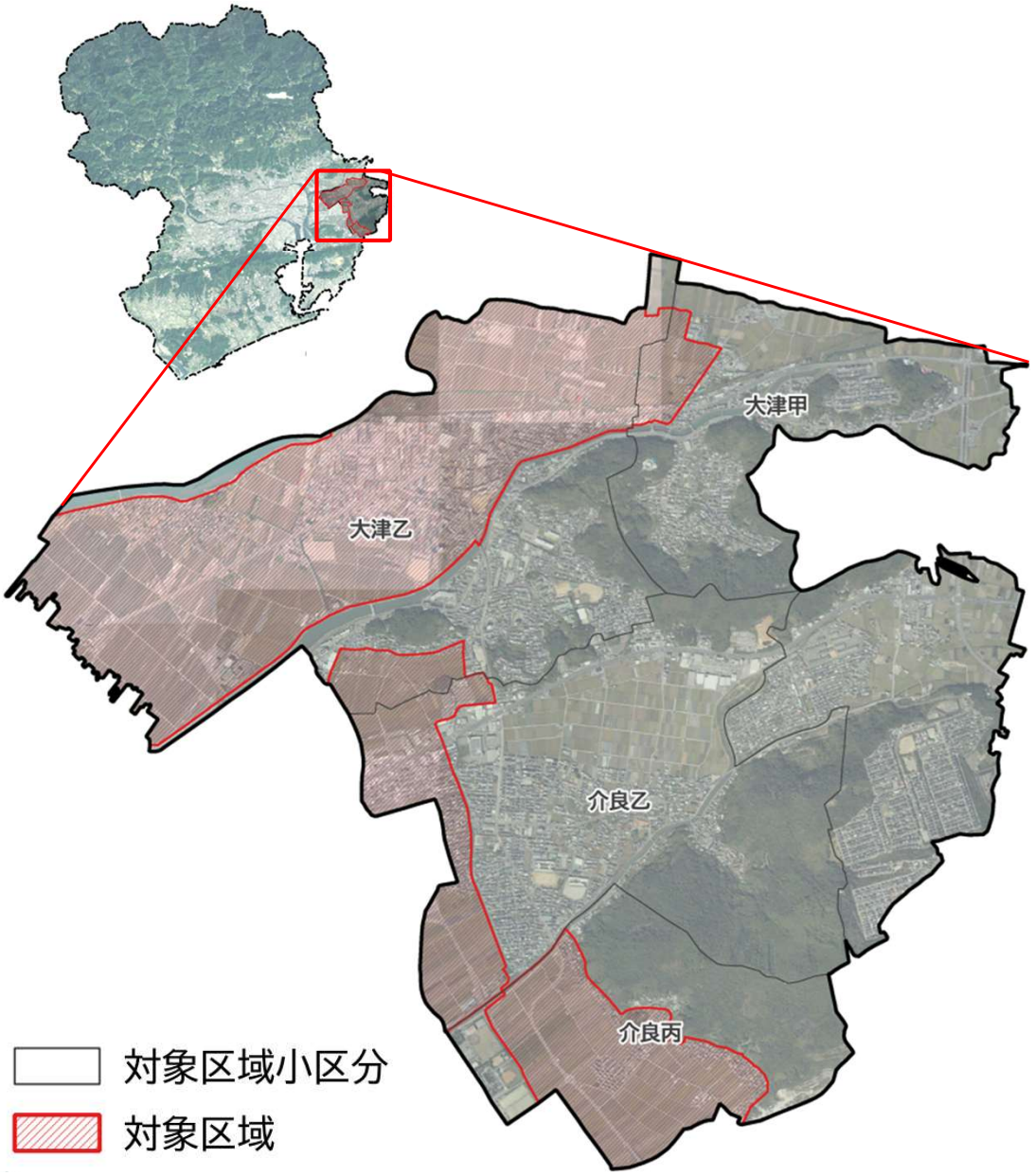
【大津・介良地区の現状】

➢ 【地区の位置】



人口

➢ 人口（令和７年４月時点）
総数　　22,198人（６５歳以上 6,487人）
対象区域　4,879人（６５歳以上 1,427人）
➢ 人口減少率・高齢化率ともに市平均よりやや低い

土地利用

➢ 大津介良地区は北側に国分川、南側に舟入川が広がっており、周りには高天ヶ原山などが存在
➢ 地域全体が国分川や舟入川などにより形成された沖積平野に位置し、地域西部の多くがゼロメートル地帯

【大津地区】
西側に農地が広がり、東部は県道374号、国道32号を軸として住宅地や食品工業団地など産業が発展

【介良地区】
農地と住宅を中心とする市街地が混在

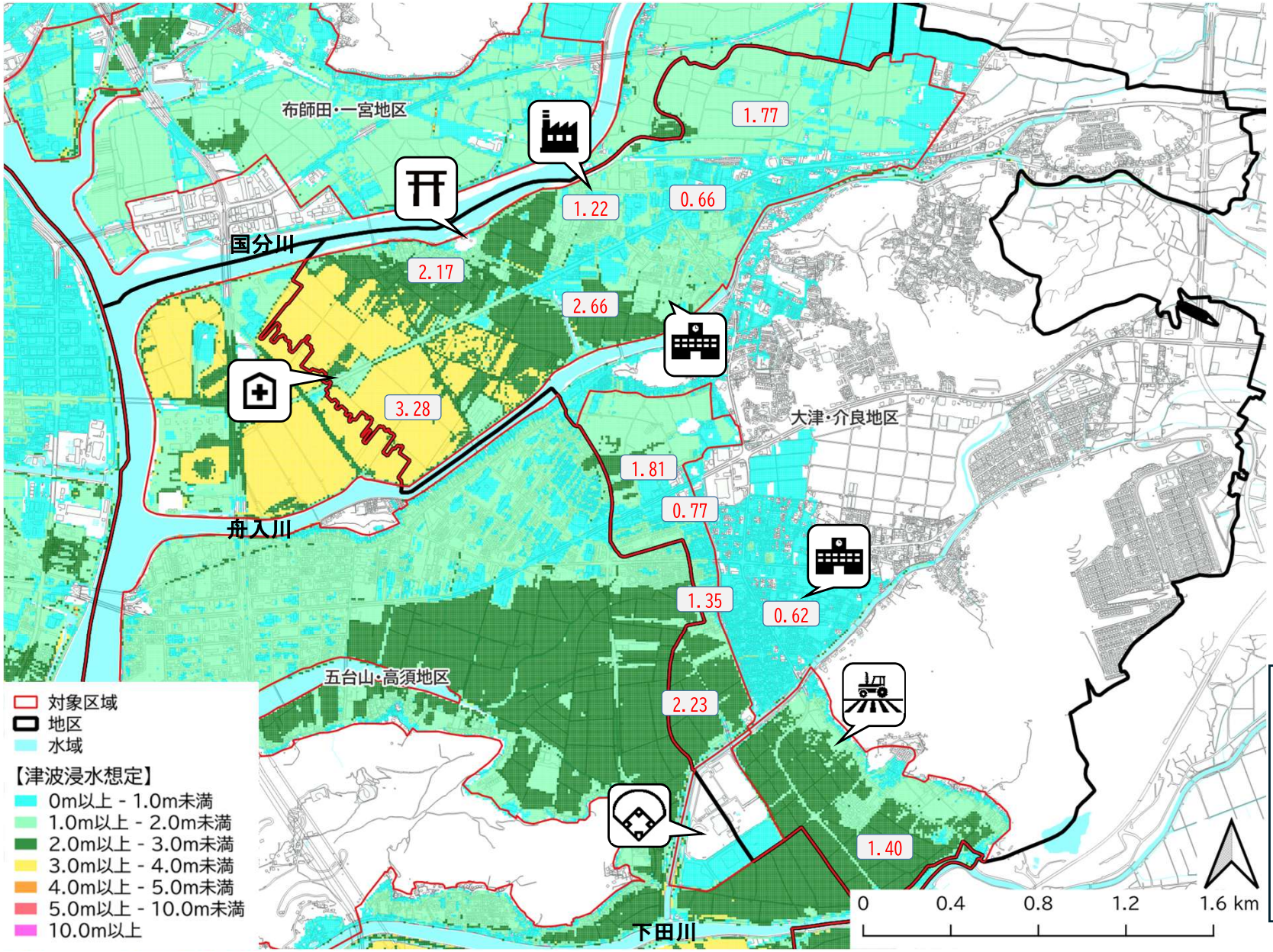
産業

➢ 大津地区の食品工業団地等の工業、米作を中心とした農業が展開
➢ 北側に大津バイパス、南側に南国バイパスという幹線道路が東西方向に走っており、両バイパス沿いには商業・工業施設が立地している

文化

➢ 田辺島城跡(福留隼人神社)が国分川沿いの集落部に隣接して立地するほか、弥生時代から中世にかけての遺物が散布する介良遺跡など

高知市で想定される災害について～事前復興まちづくりの津波浸水想定





このシミュレーションは、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合のものです。

想定される災害及び復興対策

想定される災害

津波：最大クラス(M9.1)の津波を想定。内陸部１～２ｍ、沿岸部は２～５ｍ。

揺れ：震度６から７による被害が想定。

液状化：面的な液状化の恐れがある地域が分布。

土砂崩れ：揺れにより土砂崩れが発生する可能性。

火災：木造密集地域では火災が広がる可能性。

復興対策(面的な被害が生じた場合)

津波浸水深に応じ、地域特性や被害特性をふまえた復興パターン

原則、現地再建（建物築年代や道路事情に応じ区画整理事業等）

原則、現地再建（被災状況に応じ宅地液状化防止事業等）

現地再建、被害の恐れが残る場合移転等

現地再建、建物耐火性向上
消防活動円滑化のための道路等基盤の整備

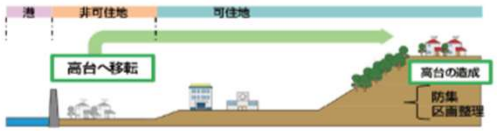
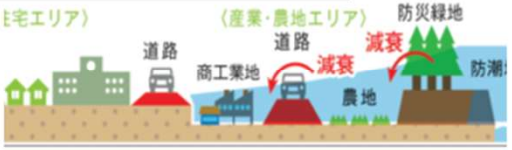
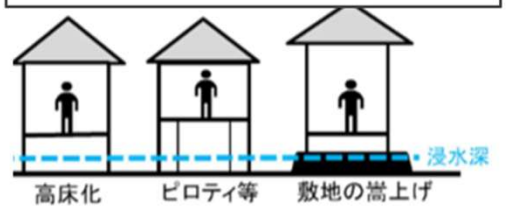


津波浸水深と復興の種類の関係性

移転・嵩上げ

2ｍ以上

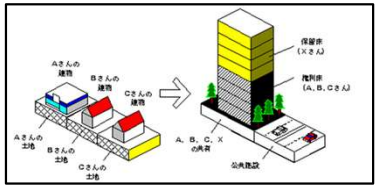
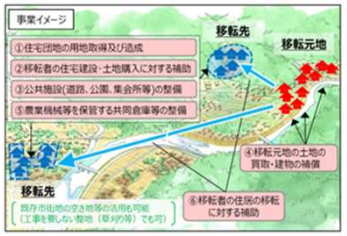
現地再建

浸水深	考え方	復興の方向	復興パターン	パターンイメージ
３m以上 （２階以上）	大規模再編	**大規模な基盤・土地利用の整備が必要**	・高台移転 （元地は建築制限） ・大規模な嵩上げ	■高台移転イメージ 
２～３m未満 （１階天井）	改善復興	**嵩上げや道路等基盤の整備が必要**	・高台移転 ・嵩上げ ・街区単位等の嵩上げや建築規制等	■嵩上げイメージ 
１～２m未満	修復復興	家屋の再利用が可能 浸水深の低減、避難の安全性の向上 狭隘道路や木造家屋が密集する地区については、道路基盤整備等の検討が必要	・二線堤などの多重防御 ・嵩上げ	■現地再建・多重防御イメージ 
０．３～１m未満	現地復興	家屋の再利用が可能となる軽微な被害 避難対策と合わせた現地復興	・浸水深の軽減対策 ・既存の居住機能の確保	■現地復興イメージ【浸水深の軽減対策】  出典:水災害リスクを踏まえた防災まちづくりのガイドライン(令和３年５月、国土交通省　都市局 水管理・国土保全局 住宅局)
０～０．３m未満	現状維持	建物の被害は少なく、復興後の津波安全性は高いため現状維持	・現状の居住機能の維持を前提	

※　住宅の復興パターンについては、これまでの都市基盤整備が概成していることから、**原則現地再建を基本**とする。また、東日本大震災等での建物被災状況を踏まえ、**浸水深２m超を基準として、高台移転も復興パターンの選択肢として検討**する。

※　農地や商業地については現地再建を基本とするほか、浸水深２m以上のエリアも候補として立地を検討する。

復興パターンにおける事業手法の内容

	現地再建（嵩上げ含む）	移転
ポイント	住み続けられる復興を基本とするコミュニティの維持 ➡道路基盤の整備と共同化、面的嵩上げ等による安全な居住空間の確保	甚大な被害が想定される箇所からの、高台や内陸への移転による、安全な居住地の確保・コミュニティの維持
主な活用事業	・市街地再開発事業、土地区画整理事業 権利変換による共同床の取得 ・災害査定による原形復旧  	・防災集団移転促進事業 元地の売却と安全な宅地の取得 
効果 （メリット）	・現在の生活再建、コミュニティの維持 ・土地利用の高度化、最適化(集約化) ・国等の支援措置の活用	・安全な場所への移転による生命や財産の安全性確保 ・国等における支援措置の活用
課題 （デメリット）	・合意形成の長期化、整備の長期化 ・減歩や権利変換などの負担 ・居住・経営形態の変化	・合意形成の長期化 ・コミュニティの分断 ・利便性の低下

復興パターンの検討
～主要イメージ

今後、ワークショップ等で
住民の意見を取り入れる

復興ビジョン

自然と産業と住まいが調和する　安心とやすらぎのまち

大津・介良地域は、地域を流れる川と里山、優良な農地など水と緑に恵まれるなかで、郊外の住宅地として急速に発展してきたまちです。津波災害からの迅速な生活環境の復旧を図るとともに、生活を支える基盤の向上と、優良農地の保全や里山・水辺などの豊かな自然環境との調和を図り、住みやすくやすらぎのあるまちづくりを進めます。

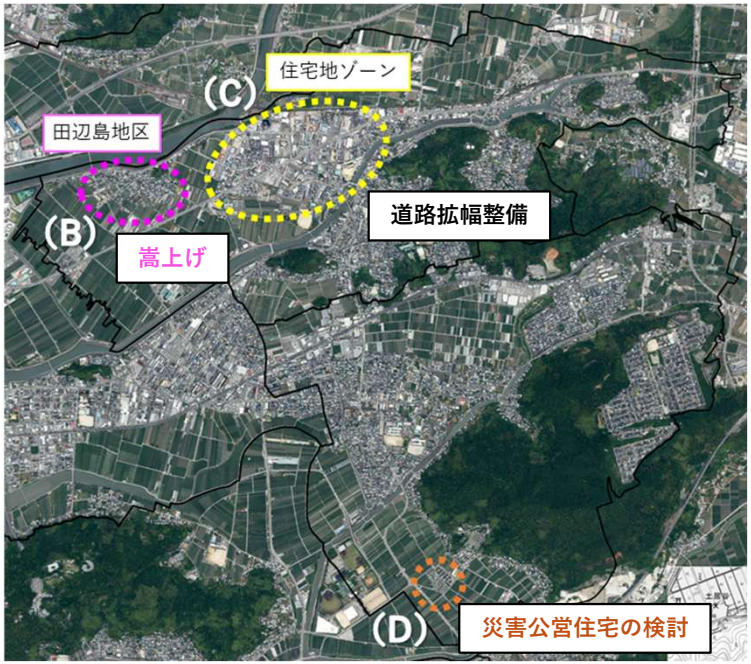
【第１案】二線堤形成案

赤の点線部分（錦功橋～新木橋）は、堤防から内側に第二の堤防（二線堤）を設置することで内陸部の浸水を低減させる案。



【第２案】嵩上げ案

被害が大きいと想定される田辺島地区を嵩上げし、津波の浸水を防ぐ案。



【地区の方向性】

- 津波浸水想定が2.0m以上となる集落・農業ゾーン（田辺島地区）の復興パターンの検討
- 浸水深が２ｍ未満となる大津乙の住宅地ゾーンにおける道路基盤の改善
- その他の地域に関しては個別嵩上げ等の現地再建を基本とする

第１案
二線堤形成案



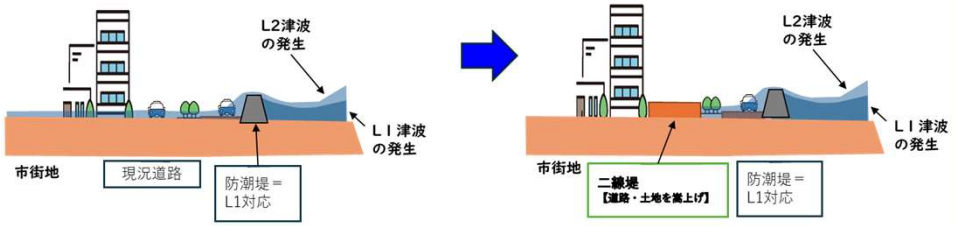
(A) ・・・・・・ 二線堤整備

(C) ○ 道路拡幅整備

(D) ○ 災害公営住宅の検討

二線堤

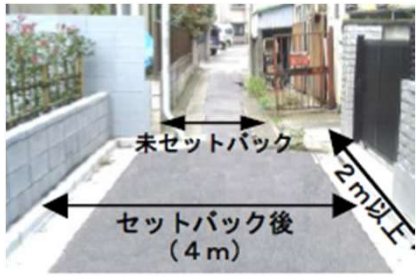
堤防から内側の土地を嵩上げすることで第２の堤防の役割を担う。



※津波高さや浸水深等はおおよそのイメージを示しています。

道路拡幅

４m未満の道路を４m以上に拡幅することで、避難時の安全確保や緊急車両の幅員を確保する。

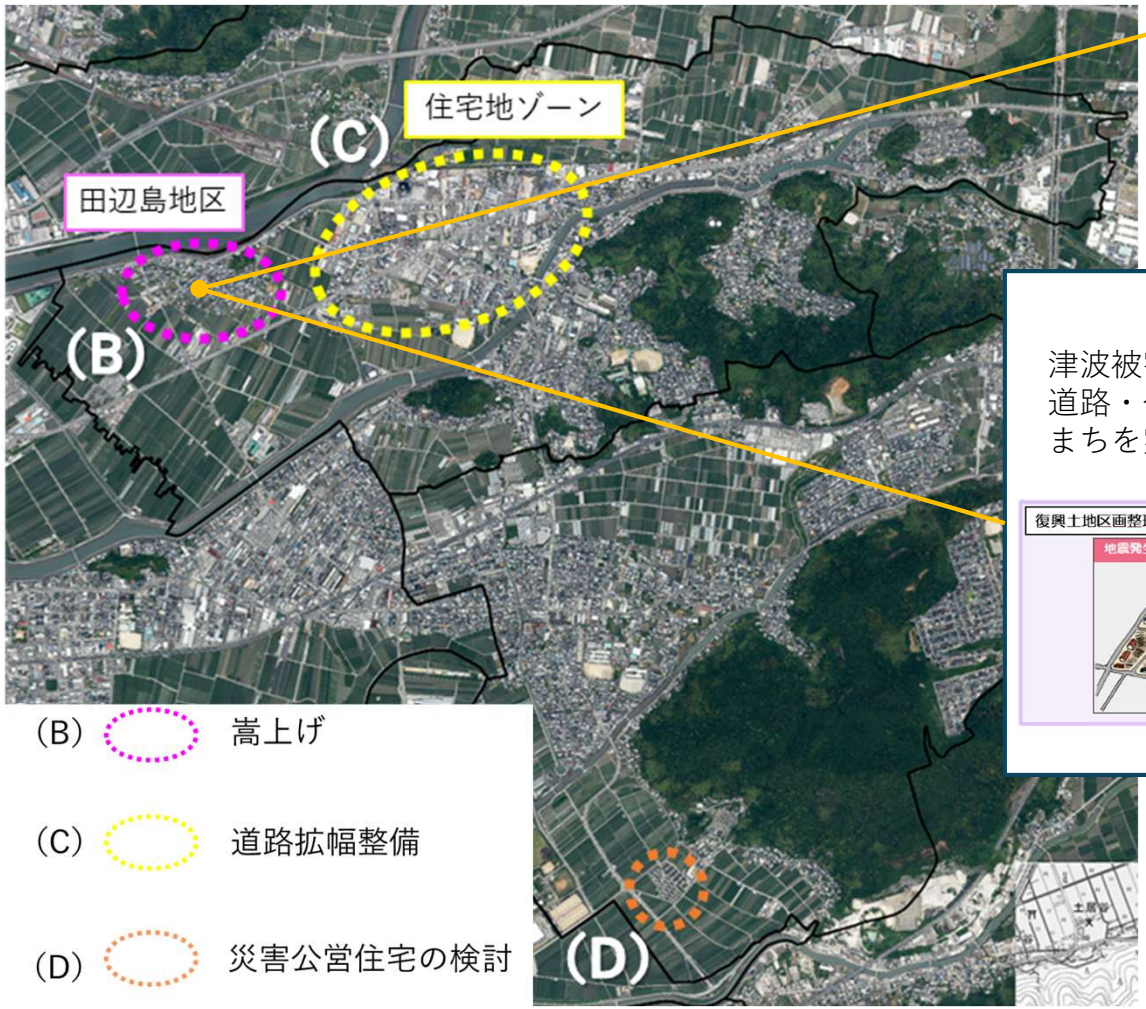


災害公営住宅

災害によって住宅を失った被災者のために，低家賃で生活できるように，地方公共団体が整備する公営住宅。



第２案
嵩上げ案



(B) 嵩上げ

(C) 道路拡幅整備

(D) 災害公営住宅の検討

嵩上げ

津波浸水を防ぐため、土地を嵩上げする。



区画整理事業

津波被害が大きく、狭い道路が目立つため、区画整理事業を実施。
道路・公園などの公共施設の整備・改善と宅地の利用増進を図り、安全で快適なまちを実現するための事業。

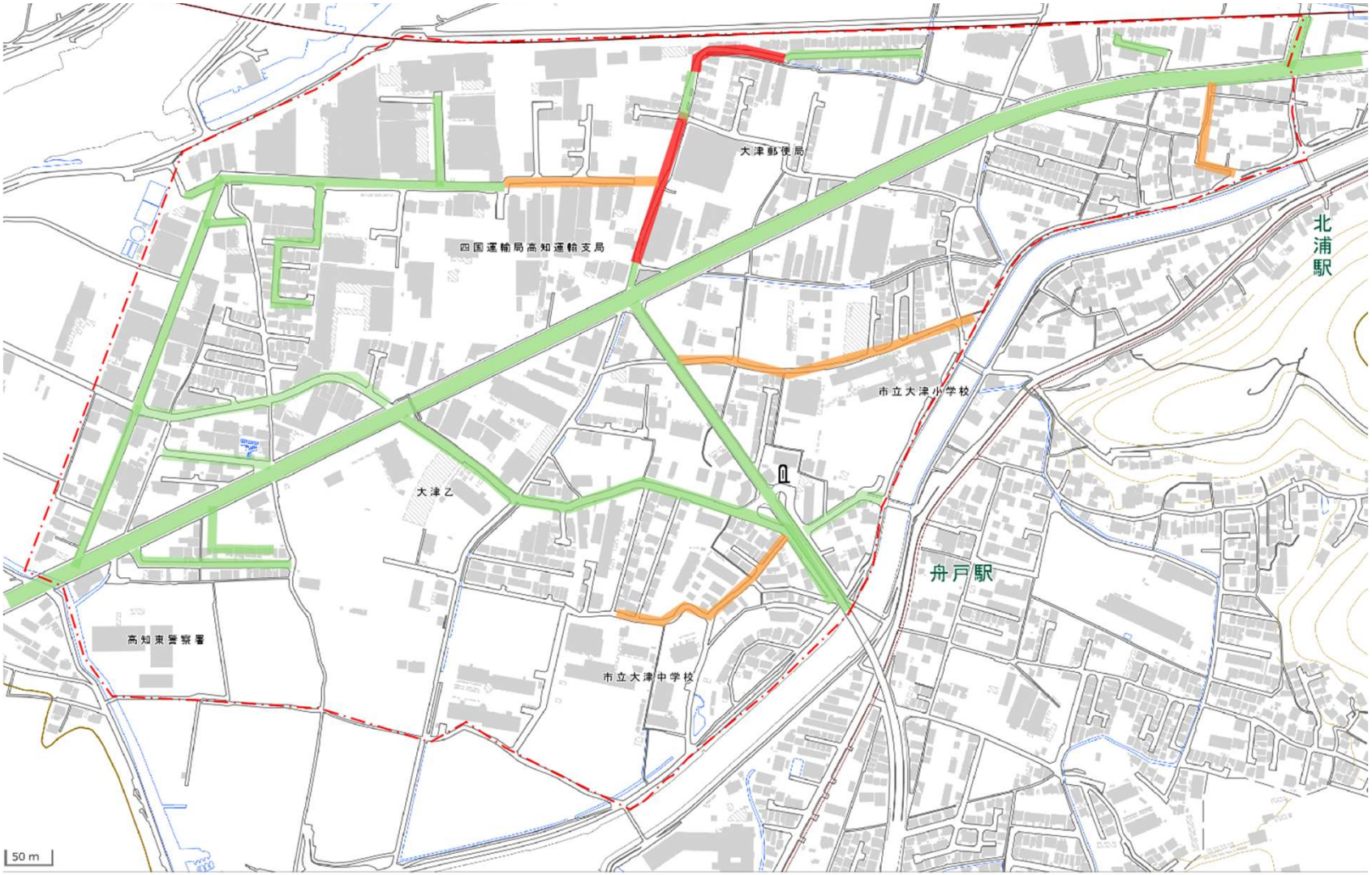


市川市震災復興マニュアル資料を活用させていただき加工

道路拡幅整備詳細図

住宅地ゾーン復興パターン

・災害時の安全な避難などを考慮し、地区内の主要な道路において４ｍ以上の幅員を確保する
・食品工場団地内は大型車の通行に配慮し６ｍ以上を確保する



既存の幅員６ｍ以上の道路

拡幅により幅員６ｍ以上を確保

幅員４ｍ以上を確保する

復興パターンのまとめ

ゾーン	集落・農業ゾーン（田辺島地区、市街化調整区域）		住宅地ゾーン （居住誘導区域、津波浸水深2m未満）
復興 パターン	【第１案】二線堤	【第２案】嵩上げ	道路空間の確保
ポイント	•集落を守る二線堤及びその沿道の集落と農地の良好な市街地環境向上 •集落コミュニティの維持と農業生産環境の向上	•集落の住宅地を中心に津波からの防護を図る面的な嵩上げ整備 •集落コミュニティの維持	•個別嵩上げ等による、津波浸水に強い市街地の形成の誘導 •道路ネットワークの形成により、津波避難安全性の向上（公共の津波避難施設への安全な避難の確保）
活用事業	•地盤嵩上げ土地区画整理事業 •堤防機能を持つ道路の整備、強化 	•地盤嵩上げ土地区画整理事業 	•道路改良事業 •道路狭隘事業 
効果 （メリット）	•集落の津波安全性・居住環境の向上 •地域コミュニティの維持 •農業従事者の生業の継続 •農地の生産環境の向上	•集落の津波安全性・居住環境の向上 •地域コミュニティの維持	•修復による迅速な生活再建が可能 •地域コミュニティの維持 •避難の安全性向上 •利便性の向上
課題 （デメリット）	•整備が長期化する恐れ •用地確保の調整時時間がかかる可能性 •住民・農業経営者の多合意形成が必要となる可能性	•整備が長期化する恐れ •用地確保の調整時時間がかかる可能性 •大規模な土地利用の再編が必要となる •住民の合意形成が必要となる可能性	•道路拡幅の実施にあたり、個別の対応により事業の進捗が遅れる可能性 •市街地の安全性向上は十分ではない •個別の建替え等による対策のため、個人負担が大きくなる
事業期間	△ （被災から７～８年）	△ （被災から７～８年）	○ （被災から３～５年）
個人負担	土地：減歩あり。負担は原則なし 家屋：個人負担 ※注1	土地：減歩あり。負担は原則なし 家屋：個人負担 ※注1	土地の提供あり
事業費	約30億円	約70億円	約1億円

※注１：家屋補償される場合もあります。ただし建物が全壊の場合は補償対象外となります。
備　考：面的整備を行わない区域における個別嵩上げについては、東日本大震災の復興事業において、行政的な支援実績があります。
液状化による家屋被害への再建費用は、原則個人負担となります。（過去の事例では支援実績あり）